

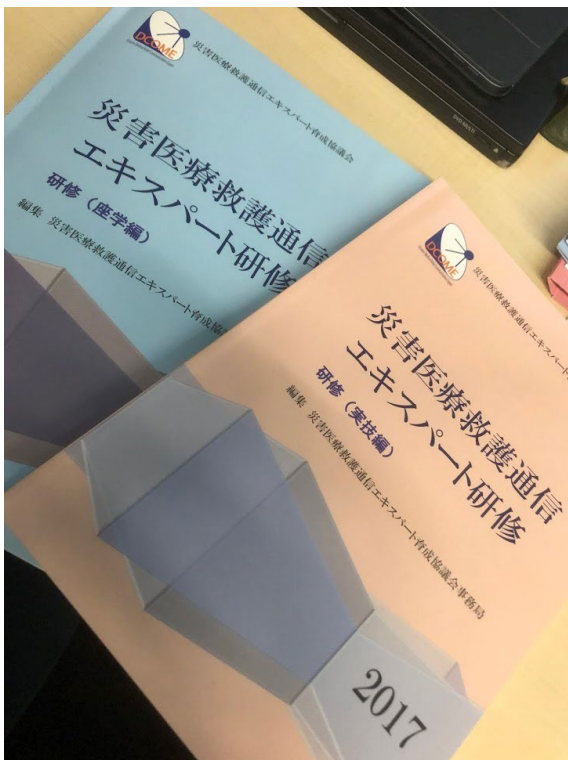
上級災害医療救護通信エキスパート研修に参加しました（2019/11/16-17）

テーマ：災害医療救護通信、衛星携帯電話および衛星データ通信
会場：東北大学災害科学国際研究所

2019年11月16、17日の2日、災害科学国際研究所において上級災害医療救護通信エキスパート研修が開催され、稲葉洋平助教（災害医学研究部門 災害放射線医学分野）が参加しました。本事業は、平成29年度から「災害医療救護通信エキスパート育成協議会」が総務省事業として実施しているものです。首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害時において、国民の生命・身体を守るために行われる医療・救護活動を円滑に行うために必要とされる情報伝達の手段として使用される、衛星携帯電話および衛星データ通信をはじめとする各種無線機器等を適正かつ有効に取り扱うことができる人材を育成し、災害医療・救護活動等の維持を図り、被災者の医療活動等の支援に寄与することを目的としています。

上級災害医療救護通信エキスパートの目標は、衛星データ通信機器等の設置・メンテナンスおよび操作の指導ができるレベルを目指し、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる知識および技能のうち、高度なもの（主に衛星データ通信に特化した内容）を習得することです。

研修内容は、座学に加え、実技研修も行われました。様々な無線機器（CR、MCA）や衛星データ通信機器（イリジウム、スラヤ、ワイドスター、BGAN、VSAT）に実際に触れることができ、今後の災害医療に即活用できる充実した内容でした。また、オンライン授業も体系的に収録されており、事前事後学習にも大いに活用できるものでした。



研修教材（座学・実技編）



VSAT 設置訓練